

見守り安心ネットワーク活動の実態状況

地区名	目的・内容	実施日	場所	団体	実施団体	内容・成果	対象世帯	実施期間
第二	地域ぐるみの見守り・災害時要援護者の見守り、支え合いマップづくり。介護者を対象に、情報の提供とともに技術の普及を支援し、関係団体の集い、講習に参加する。	平成27年6月 平成28年2月	地区公民館 ・福祉ひろば	民生児童委員 ・地区町会会	・地区社協 ・町会連連合会 ・民生児童委員協議会	・地域ぐるみの見守り、災害時要援護者の見守り、介護者を対象に、情報の提供とともに技術の普及を支援した。	140名	毎月第1木曜日
第三	地域ぐるみの見守り、声かけ、助け合い運動を通して、地域の人々が安心して生活ができるように、見守り活動を実施する。	随時		民生児童委員 ・地区防災部	・地区社協 ・民生児童委員協議会 ・地区防災部	・一人暮らし寝たきりの高齢者世帯、障害者、小学生等を重点に声掛け、訪問等の見守りを行った。 ・民児協定例会において、事例の告知を行い反省と対策の検討を行った。 ・各町会の民生児童委員との連絡を緊密にして「安心台帳」を作成し、地域支援者による高齢者の見守り活動を行った。 ・各町会の防災部との連絡を緊密にして、災害時における要援護者への連絡・避難誘導等の徹底と掌握を図った。		平成27年4月～ 平成28年3月
東部	寝たきりや高齢者在宅世帯や一人暮らし高齢者宅などを訪問し、心身のケアにつながる援助活動を展開する。	平成27年4月～ 平成28年3月		町会連連合会 ・民生児童委員協議会	・地区社協 ・町会連連合会 ・民生児童委員協議会	・寝たきりや高齢者在宅世帯や一人暮らしの高齢者宅などのを訪問し、心身のケアにつながる援助活動を実施した。 ・歳末友愛訪問(生活保護世帯、母子家庭、70歳一人暮らし)	201世帯	平成27年4月～ 平成28年3月
中央	地域住民の見守り、助け合い活動の推進、安心して暮らせる地域をめざす。	8月・12月 通年		町会連連合会 ・民生児童委員協議会	・地区社協 ・民生児童委員協議会	・見舞品を配りながら、訪問調査し、安否確認を行っている。	約220名	平成27年8月と 12月
城北	在宅寝たきり、老人宅を訪問し、見守り安心ネットワーク事業の定着を図る。地区内の寝たきり老人宅を訪問し、健康飲料等を配り、日常生活の状況を聞き、激励し、話し合いを通して安心感をあたえる。	6月・7月・8月	寝たきり高齢者宅	日赤奉仕団	・地区社協 ・日赤奉仕団	・在宅の寝たきり高齢者宅を訪問し、生活状況や健康状態を見守り、安心ネットワーク事業の定着を図った。	延68名	平成27年 6 月・7月・8月
安原	目的 見守り安心ネットワークの構築。災害時要援護者登録制度の推進。 内容 民生児童委員を中心に、訪問関連講習会の実施	平成27年4月～ 平成28年3月		民生児童委員協議会	・地区社協 ・民生児童委員協議会	・民生児童委員による高齢者・要支援登録者・障害者宅への訪問・声かけ・見守りを実施した。 ・見守り安心ネットワーク構築の勉強会を実施した。	地区全体	平成27年4月～ 平成28年3月
城東	目的 一人暮らし高齢者、老々世帯の人達が地区内で安心して暮らしていける地域づくり 内容 高齢者に感心のある情報をチラシにして訪問、また生活物資(1回/年)も届けながら安否の確認や相談を受ける。	通年		民生児童委員協議会	・地区社協 ・民生児童委員協議会	・地区内の一人暮らし高齢者世帯へ民生児童委員が独自のチラシを製作して生活物資と一緒に届けながら安否確認・声かけ・相談を行った。 ・チラシの内容を説明しながら話題も豊富になりより一層のコミュニケーションが図れた。 ・生活物資を配布し喜ばれた。	約200世帯	平成27年4月～ 平成27年11月
白板	目的 一人暮らし高齢者の見守りと、安否確認の構築・活動の定着を進める。 ・子ども見守り体制の構築を進める。	平成27年7月～ 平成28年3月		・福祉ひろば ・町会連合会	・地区社協 ・福祉ひろば ・町会連合会	・見守り安心ネットワークを推進するために支援体制を構築した。 ・福祉ひろば祭りで、地域住民の交流・孤立感を解消するための交流を行った。 ・PTAと地区社協会員と協力して、子どもたちを見守る支援体制を構築した。		平成27年7月～ 平成28年3月
田川	地区内に居住する一人暮らしと、高齢者、子ども、赤ちゃん世帯や障害者世帯の見守り、声かけ運動をする。	平成27年4月～ 平成28年3月		民生児童委員 福祉ひろば ボランティア部会 公民館	・地区社協 ・民生児童委員 ・福祉ひろば ・町会連合会 ・公民館	・地区内に居住する一人暮らしと、高齢者、子ども、赤ちゃん世帯や障害者世帯の見守り、小学校の登下校時の見守りや配食時に声がけ運動を行った。	500名	平成27年4月～ 平成28年3月
庄内	高齢者家庭および一人暮らし家庭を、民生児童委員が定期的に訪問して、健康状態や家庭環境の状況把握に努める。	毎月一回		民生児童委員	・地区社協 ・民生児童委員	・民生児童委員が該当家庭を訪問し、ヤクルトを配りながら、健康状態や家庭環境について聞き取りながら支援活動を行った。	180名	毎月1回
鎌田	・地区防災と併せて、安全と安心の地域づくり及び町会のボランティアの協力を得て、要援護者の支援活動を図る。 ・地域の防災体制を構築するなかで緊急時に対応出来る体制づくり。 ・一人暮らし高齢者や寝たきり高齢者、高齢夫婦世帯の安否確認 ・要援護者等の見守り、声かけ、ゴミだし、雪かき等	平成27年4月～ 平成28年3月		・ボランティア部会	・地区社協 ・ボランティア部会 ・地区防災部 ・民生児童委員 ・町会役員 ・PTA ・健康づくり推進委員	・地区の防災と併せて、安全と安心の地域づくり及び町会のボランティアの協力を得て、要援護者の支援活動の充実を図った。 ・地域の防災体制を構築するなかで緊急時に対応出来る体制づくりを行った。 ・一人暮らし高齢者や寝たきり高齢者、高齢者夫婦世帯の安否確認を行った。 ・要援護者等の見守り、声掛け、ゴミ出し、無雪かき等を行った。 ・民生児童委員が、一人暮らし高齢者、老老世帯に声がけと町内巡回を行った。町会役員と小中PTAが大雪時に通学路と生活道路の除雪と塩カルを散布しました。 ・ボランティア委員が、一人暮らし高齢者に手作りのネックウォーマーを配布した。	220世帯	平成27年4月～ 平成28年3月

松南	・園児、小中学生、高齢者を対象に事故防止「安全・安心」の推進 ・開明小学校、宮田保育園、南松本保育園の交通安全教室の開催 ・民生児童委員による一人暮らし、高齢者のみの世帯への安否確認	通年		民生児童委員	・地区社協 ・交通安全協会	・園児、小中学校生、高齢者の事故の防止と安全安心の推進を図った。	800名	平成27年4月～ 平成28年3月
島内	地区防災組織の活動と併せ、安全・安心の地域づくりを進め、緊急時への対応と助け合い精神の啓発を図る。 地区内の防災体制を構築する中で、緊急時に対応できる見守り安心ネットワークづくりを行う。	平成27年4月～ 平成28年3月		民生児童委員協議会 防災部	・地区社協 ・民生児童委員 ・防災部員	・防災体制を構築する中で、緊急時に対応できる見守り安心ネットワークづくりを行った。	4,200世帯	平成27年4月～ 平成28年3月
中山	・地域で暮らす青少年の安全安心な生活を後押しする。・中山っ子安全・安心見守りたいを中心に、地区の園児、児童、生徒の通学時の安全確保を重点に、各町会が見守り活動を展開する。	平成27年4月～ 平成28年3月		町会組織	・地区社協 ・各町会組織	・地域で暮らす青少年の安全安心な生活を支援した。 ・中山っ子安全、安心見守り隊を中心に、地区の園児、児童、生徒の通学時の安全確保を行った。	全世帯	平成27年4月～ 平成28年3月
島立	・一人暮らしや寝たきりの高齢者世帯等を対象に見守り声かけの活動を実施し、安否確認や悩み事等把握する。	平成27年 9月、10月、12月		民生児童委員協議会、 日赤奉仕団、各種団体	・地区社協 ・民生児童委員協議会 ・日赤奉仕団	・一人暮らしや65歳以上の寝たきり高齢者、生活保護者やを対象に見守り声かけの活動を実施し、安否確認や悩み事等を把握することができた。	20名	平成27年12月28日
新村	町会ぐるみでの活動やふれあいを通して、見守り・声かけを行い、安心づくりをめざします。・町会ぐるみの見守り、声かけを行い、安心の町づくりを行う。・地域の危険個所の調査を行い、安全の確認を見直す。・不審者対策の研修や講演会を開催し意識の高揚を図る。	平成27年4月～ 平成28年3月	新村地区	子ども会育成会	・地区社協 ・子ども会育成会	・町会ぐるみでの活動やふれあいを通して、見守り・声かけを行い、安心づくりをめざした。 ・町内の危険個所の調査を行い、安全確認を行った。	73名	平成27年4月～ 平成28年3月
神林	地区のボランティアや住民の協力を得て地区内の居住する一人暮らし・寝たきり高齢者夫婦や障害者世帯の見守り、声かけ運動を実施する。見守り、声かけ、友愛訪問、緊急時の通報等	平成27年4月～ 平成28年3月		民生児童委員協議会	・地区社協 ・民生児童委員	・ボランティアや住民の協力を得て、一人暮らし、寝たきり、高齢者夫婦や障害者世帯の見守り、声かけ運動を実施した。 ・見守り、声かけ、友愛訪問、緊急時の通報を実施した。 ・民生児童委員を中心に声かけ実施した。	30名	平成27年4月～ 平成28年3月
笹賀	・地域ぐるみの見守り・声かけ・助け合い活動を実施し、地域と連携して助け合える体制づくりを推進する。 ・子ども登下校時の見守りサポーター活動の実施と連絡体制の見直し。 ・一人暮らし高齢者、要援護者等の見守り体制の検討。	平成27年4月～ 平成28年3月		支え合い活動委員会、 子ども会育成会、 民生児童委員協議会	・地区社協 ・支え合い活動委員会 ・子ども会育成会 ・安心の家 ・安協 ・PTA	・地域ぐるみの見守り、声かけ、助け合い活動を実施した。 ・地域と連携して助け合える体制づくりを推進した。	100名	平成27年4月～ 平成28年3月
芳川	災害時等の要援護者を支援するため、ボランティアや地区住民によるネットワークを構築します。 構築したネットワークを活用し、一人暮らし高齢者等への「声かけ」「見守り」等の支援を実施します。	通年		町会連合会、 民生児童委員協議会	・地区社協 ・町会連合会 ・民生児童委員協議会	・災害時等の要援護者を支援するため、ボランティアや地区住民によるネットワークを構築を推進した。 ・構築したネットワークを活用し、一人暮らし高齢者等への声かけ、見守り等の支援を実施した。	800名	平成27年4月～ 平成28年3月
寿	福祉ひろばから遠く交通手段のない人や閉じこもりな人に対して、仲間づくり、介護予防等を推進する事業への参加を促進する。 地域の中での支え合いや、地域づくりの担い手づくりを進める。	月1回・ 偶数月月1回		各種団体、 地域づくり推進協議会	・地区社協 ・各種団体 ・地域づくり推進協	・閉じこもりな人に対して、仲間づくり、介護予防等を推進する事業への参加を促進しました。 ・地域の中での支え合いや地域づくりの担い手づくりを進めました。	地域住民	平成27年4月～ 平成28年3月
寿台	・地区内全住民が参加する防災訓練において、隣近所に声掛け等絆を深め、災害時には地域で一丸となって支え助け合える様にする。 ・突然の災害時に、隣近所の絆が非常に重要です。特に災害時要援護者といわれる人の避難、安否確認を重点に実施する。	平成27年9月6日		町会連合会、 民生児童委員協議会 健康づくり推進員 福祉ひろば ボランティア部会	・地区社協 ・町会連合会 ・民生児童委員 ・健康づくり推進員 ・ボランティア部会員 ・福祉ひろば職員	・全住民が参加する防災訓練において、隣近所に声掛け等絆を深め、災害時に備えて地域一丸となって支え合いの訓練を実施した。 ・災害時要援護者の避難、安否確認を実施した。	500名	平成27年9月6日
岡田	・地区内に居住するひとり暮らし老人等の見守り声かけ活動を行い、困りごとの早期発見、福祉の促進を図る。 ・困っているお年寄りがいないか、共催団体と連携を取りながら、要介護者をリストアップして見守り声かけ活動を行う。	平成27年4月～ 平成28年3月		民生児童委員協議会、 町会	・地区社協 ・民生児童委員 ・町会	・一人暮らし高齢者等の見守り声かけ活動を行い、困りごとの早期発見・福祉の促進を図った。 ・困っているお年寄りがいないか、要介護者をリストアップして見守り声かけ活動を行った。	270名	平成27年4月～ 平成28年3月
入山辺	地区の高齢者宅や施設入居者を訪問し、援助活動や語らいを行い、地域との共存を図る。 高齢者に敬老祝い品を届けると同時に声かけをする。	平成27年9月		町会連合会、 民生児童委員	・地区社協 ・町会連合会 ・民生児童委員	・地区の高齢者宅や施設入居者を訪問し、援助活動や語らいを行い、地域との共存を図った。 ・高齢者に敬老祝い品を届けると同時に声かけを実施した。	100名	平成27年9月
里山辺	・要援護者の安否確認のための見守り、訪問をするもの。 ・通年にわたり、対象者の自宅を訪問し、相談にのったりして安否確認をする。	通年		民生児童委員協議会	・地区社協 ・民生児童委員	・高齢者、要援護者の見守り、安否確認のため、自宅を訪問した。 ・冬には使い捨てカイロやみかんを配りながら安否確認を行いました。 ・新生児宅を訪問し、子育ての相談に対応しました。	600名	平成27年4月～ 平成28年3月

今井	子どもを犯罪から守るには、地域が子どもに関心を持つことが必要との主旨から、平成17年より「子ども守り隊」を編成し、学校と連携しながら地域の通学路等で見守り活動を開始した。 その際、地域住民が一目で分かる様帽子を製作したが、10年が経過し劣化・損傷・新規隊員対応のため更新が必要となった。	平成27年5月		公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協 ・今井公民館 ・今井子ども守る隊 ・今井地区社会福祉協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを犯罪から守るには、地域が子どもに関心を持つことが必要との主旨から、平成17年より「子ども守り隊」を編成し、学校と連携しながら地域の通学路等で見守り活動を行っている。 ・地域住民のボランティアによる「子ども守る隊」結成し、小中学校と連携を取りながら活動。小学校より毎月「児童の登下校時刻表」をいただき、見守っている。(H28.4 現在 隊員 22名) 	30名	平成27年4月24日
本郷	目的:地域住民による支え合いにより、絆を深め、見守りの体制7を構築する。 内容:一人暮らし高齢者、老々世帯、障がい者等、対象者の見直し確認ネットワークとマップ作成 関係者への周知、協力 児童登下校時における声かけ活動 親睦会 地域ぐるみの見守り	通年		民生児童委員協議会 子ども会育成会 防犯防災部 他	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協 ・民生児童委員 ・育成会 ・防犯防災部 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者、老々世帯、障害者等の一人暮らしを対象にマップを作成して、町会役員及び関係者への周知を図った。 	200名	平成27年4月～平成28年3月
	水汲町会 目的:地域住民による相互支え合いにより絆を深め、安心安全な地域づくりに努める。 内容:一人暮らし高齢者、高齢者世帯の安否を気遣う組織づくりと具体的な実践活動。	通年				<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者、高齢者世帯の安否を行う組織づくりと具体的実践活動を行った。〔組織:一人暮らし高齢者を支える組織(登録者:12名)〕 ・雪かき応援団や隣組見守りたい等の体制整備を進めている。 	120名	平成27年4月～平成28年3月
松原	対象者宅に最低月一度、ボランティア、民生児童委員、町会長が中心となり、見守り・声かけ、援助活動を行う。	平成27年4月～平成28年3月		町会連合会、 民生児童委員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協 ・町会連合会 ・民生児童委員協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども見守りたい活動(1日2回の声かけ・見守り)しました。 ・高齢者が自由に集える「ぷらっとカフェ」の実施しました。 ・一人暮らし高齢者や高齢世帯、子ども等の見守り活動を通して、安全・安心の地域づくりを推進しました。 	1,300名	平成27年4月～平成28年3月
四賀	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時はもちろん、普段からの情報手段の確認、見守り、声掛けなど日々の地域での関わりを重視し、支え合い事業のつながり隊、お届け隊の隊員とのネットワーク作りに努める。 ・緊急時の対応として「もしもの時の玉手箱」事業の地域拡大に努める。 	通年		地区センター、 民生児童委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協 ・四賀地区センター ・民生児童委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支え合い事業の活動をとおして、個々の見守りや声かけはもちろん、併せて行政や地域とのネットワークができました。 ・「もしもの時の玉手箱」は、大事に至る事は無かったが、地域住民からの連絡等が数件あり、無事に対応出来た。 ・緊急時はもちろん、普段からの情報手段の確認、見守り、声掛けなど日々の地域での関わりを重視し、特に「ささえあい事業」でのつながり隊(電話での安心コール)やお届け隊(手作り配食弁当)の隊員とのネットワークに努める。 ・各地区での防災マップの確認と要援護者への支援者の調整に努める。 	全住民	平成27年4月～平成28年3月
安曇	一人暮らし高齢者及び見守りを必要とする高齢者世帯に対して、安否確認を地域ぐるみで行うた実施するものです。	平成27年4月～平成28年3月		民生児童委員協議会、上高地石油、川上燃料亭、JAあづみ、安曇地区郵便局	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協 ・民生児童委員 ・上高地石油 ・川上燃料店 ・JAあづみ ・サンエス商会 ・島々郵便局 ・稲核郵便局 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者及び見守りを必要とする高齢者世帯に、灯油販売店、JA、郵便局などが、安否確認を行った。 ・民生児童委員が見守り対象者名簿を作成し、灯油販売店、JA、郵便局に情報を開示し、灯油補充時や金融商品販売時に安否を確認した。また、安否確認シートを地区社協へ提出するとともに民児協定例会に報告した。 	23名	平成27年4月～平成28年3月
波田	<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員協議会を中心に地区内における高齢者や児童生徒の安全を守るためのネットワークの啓発を進める。 ・普段からの見守り、声掛け活動等実施し、児童や高齢者が犯罪に巻き込まれないように研修等を開催する。 	通年		民生児童委員	<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・波田学校応援団として登録し、波田小中学校の児童生徒の下校時に見守り、声かけ活動を実施し防犯に巻き込まれないように、事故に合わないよう見守った。 ・おせちを届ける事業を通して、一人暮らし高齢者の年末の安否確認を続けている。 	30名	平成27年4月～平成28年3月
奈川	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の独り暮らし高齢者及び見守りを必要とする高齢者世帯に対し、安否確認を地域ぐるみで、行なうために実施するものです。 	平成27年10月1日～平成28年3月31日		民生児童委員協議会 日赤奉仕団 奥原商店	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協 ・民生児童委員協議会 ・日赤奉仕団 ・奥原商店 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、民生児童委員・福祉団体・移動販売業者との協働により買物支援と見守りネットワークの構築を目指した。 ・民生児童委員協議会より対象者へ周知し説明しニーズ調査を行い、それを基に見守り対象者名簿を事務局が作成する。そして、協力福祉団体、移動販売業者は、安否確認と買物支援を行った。それを安否シートに記入する。安否シートを基に業務委託料を日赤奉仕団や業者に支払った。 	20名	平成27年10月1日～平成28年3月31日

30地区で、地域福祉活動推進助成事業補助金の交付を受けて実施した。